

ユーアイやちよのあゆみ



49号

2008年3月15日 発行



身体介護もOKのヘルパーさん、お知り合いでいませんか？

(主に制度サービス)



“ユーアイやちよ”の会のこと、どんな風にPRしますか？

- * 平均年齢はちょっと高めですが、定年はありません。若い人もいますよ。
- * 皆さん、結構、長く働いてくれています。働きやすい？
- * プロらしく、質の向上に向けて、研修をしています。
- * 地域での支えあい。在宅福祉で15年。制度外のサービスも行っています。

会員のご家族の方もユーアイサービスの協力会員に
なって頂けませんか？(制度外有償サービス)

- * 制度外のお手伝いです。高齢世帯では困っていることがいろいろあります。
(草取りやちょっとした植木の手入れ、簡単な電器(器具)の修理、重い家具の移動、その他)

どなたか、お手伝いしてくれませんか(ボランティア活動です)

- * ひばりの会という失語症の当事者と家族の集まりの会があります。(専門職のSTさんも参加)

- ・月日 毎月、第二日曜日 ふれあいプラザ2階 1時半と4時頃(会は2~4時)
- ・内容 会が始まる前にテーブルを別室から出し、終わった後に片付ける。

ゲームの時などのお手伝い。その他、外出行事の時のお手伝い。

皆さんの話し合い中は、同席しても、隣の部屋でウォークキングなど自由に過ごしてもOK。(問い合わせは椎名迄)

介護保険の説明と介護講習会

H19.11.24日

八千代台西団地自治会から依頼があり、団地集会所で出前の介護講習会を行いました。まず、みんなで、“やちよ元気体操”を行い、当会ケアマネによる、介護保険制度についての説明、そして、介護の仕方についての簡単な実習を行いました。内容は、麻痺の方への介助の仕方として、立位、移乗、衣服の着脱介助の方法、そして、とろみ剤使用の飲み物やオムツの説明等でしたが、20名の参加者の皆さんの中には、実際介護中の方もおられました。認知症の家族を介護されている方からの質問もあり、参加してよかったという感想もいただきました。

(H.S、M.T、S.S)



助け合い活動の「役割」と広がり

「住民参加型在宅福祉サービス全国研究セミナー」に参加して

H20.2.19～20日

地域で生活する家族全体をその地域で支えることが重要だが、その支え役として住民参加型団体は重要な役割を果たしている。介護保険サービスが定着した今、利用者でもある家族に「助け合い」の概念を理解してもらい活動を進め、家族との向き合い方や支えについて、活動事例を通して考える内容だった。

M.T

感想1

社会で支える介護保険のスタートが、また、家族が支える介護に戻ってきていると思う。そこで、介護保険で担えない部分が助け合いでカバーしている。料金的には負担が増え、費用が嵩むので、助けが必要でも利用できない人が増えてくるのでは…。元気なうちから地域に根付き、面倒でも“お互い様”の気持ちで、近所付き合いをして、困ったときに「助けて」といえる関係を築くことが大切だと思いました。

M.T

感想2

制度だけでは生活が出来難くなってきている現在、制度の狭間を埋める柔軟なサービスを展開し活動していく事がこれからの課題だとつくづく思った。ユアイも会員のご主人に協力会員として登録してもらい、できることをやって頂くのも一つの人員確保の手段ではないでしょうか。

M.I

「語りパートナーの会」(ボランティア活動) 立上げの助成金を受ける

日本労働組合連合会の組合員の方々のカンパを原資とした(財)さわやか福祉団[連合・愛のカンパ]立上げ支援プロジェクトによる助成金の申請が受理され、新規事業開始「語りパートナーボランティア事業」の初期運営資金の一部として

15万円の助成を受けることができました。「語りパートナーの会」の皆さんは、学習後の実践がスタート、施設や個人のお宅への訪問が始まっています。ご活躍を応援しています。

NPOフォーラム in やちよに参加して H20.3.2

八千代市総合学習プラザで、第5回NPOフォーラム in やちよが開催されました。今回は、「住みよい地域づくりに市民の力を！」というテーマで開催され、ちばNPO協議会代表のM.Kさんの基調講演や分野別(福祉、子ども、環境)交流会が行われました。Kさんの基調講演は、地域で住み、「もっと になったら良いのに」というような地域課題を見つけだし、いろんな形(団体に参加、参画、起業、援助)で地域活動に取り組んで欲しいという内容でした。地域にはたくさんの活動の場があるので、思い切って一步を踏み出してみましょう。多様な人が参加することによって、ふくらみや広がりを作り出す。そんな密度の濃いお話しをお聞きしました。福祉も子育ても、環境もみんなつながっています。住みよい地域とはどんな地域かを考えて、一步を踏み出して見たいと思います。

M.A

豆知識

障害者に関するマーク知っていますか？



肢体不自由者が運転する自動車に貼る標識で、道路交通法に定められています。このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行うと、道路交通法の規定で罰則を受けます。



世界盲人連合会が定めた視覚障害を示す世界共通のシンボルマークです。視覚障害者の安全やバリアフリーなどの配慮された建物などに付けられています。また、このマークは、手紙や雑誌の冒頭、あるいは歩行用に自由に使用してよいとされています。



身体内部に障害を持つ人を表すマークです。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、免疫機能)の障害をお持ちの方は外見から分りにくいため、様々な誤解を受けることがあります。このマークを見かけたら、内部障害について理解し、携帯電話の使用を控えたり、電車で座席を譲るなどの配慮をお願いいたします。なお、このマークは、内部障害の方が自発的に使用するもので、法的な拘束力はありません。

行事報告（H19.11月～20.3月）

- 11/17 定例会 定例研修「認知症の方への対応」
11/21 八千代台西団地管理組合「介護についての説明会」
11/26 介護サービス事業所、指定更新手続き
12/9 千葉県訪問介護フォーラム
12/15 定例会
定例研修「訪問看護の必要性、訪問介護員の医療行為上の注意」
12/17,18 全国ホームヘルプサービス研究セミナー



H20年

- 2/16 定例会 定例研修 事例討議「訪問現場で悩むこと」
2/19,20 住民参加型在宅福祉サービス全国セミナー
2/20 八千代市介護サービス協議会「介護スタッフあつまれ」
2/24、3/9 「コーチングによる自己決定・やる気を支援」研修
3/15 定例会 今年度の反省



今後の予定

- 3/18 森山加代子「父母の介護を語る」講演会 11時～ふれあいプラザ
八千代市社会福祉協議会、八千代市介護サービス事業者協議会
3/23 ホームヘルパー介護実技講習会 千葉県ホームヘルパー協議会
4/19 4月定例会 教育委員会
4/26 「後期高齢者医療制度について」「信頼される介護職となるために」
千葉県ホームヘルパー協議会
5/17 20年度ユーアイやちよ総会 教育委員会
6/21 定例会

編集後記

先日の「NPOフォーラム in やちよ」には、ユーアイやちよから5名の方が参加されました。分野別交流会では、全員、福祉分野に出席しましたが、福祉やボランティアに関する本質的な話も飛び出しました。福祉を通じて様々な人と関わることが、自分自身を成長させ、心を豊かにしてくれるように思いました。網干

ユーアイやちよ の あゆみ

〒276-0034 八千代市八千代台西8丁目16-1

TEL.047-482-4109 FAX.047-482-4179

編集人 網干 発行人 桃井 哲朗